

子育て期女性の就労と家事の相互健康

影響: 就労時間と喫煙、飲酒、運動

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)
名古屋市立大学
大学院医学研究科 公衆衛生学
(現: 中部学院大学)

日比野 稔 (Minoru HIBINO)
元・名古屋セントラルクリニック

近藤 康明 (Yasuaki KONDO)
元・国際セントラルクリニック

第92回日本産業衛生学会 (2019.5.25, 名古屋)

共変量 5項目 (すべて 群変数で multivariate logistic regression analysis に使用)

- 年齢 5群: 5歳間隔
- 治療中疾病 2群: なし/あり, n = 3,093/984
- 配偶者 2群: なし/あり, n = 2,162/1,915
- 子 2群: なし/あり, n = 2,700/1,377
- 親と同居 2群: なし/あり, n = 2,483/1,594

まとめ

働く女性の 1週就労時間と三種の生活習慣
① 現喫煙、② 150≤g/w の alcohol 摂取、および
③ 150≤m/w の運動との横断的関連を示した。

生活習慣 ①、②、③ のうち、就労時間が長いほど ① と ② は多く、一方、③ は少なかった。

* 長時間就労は、疾病 risk を上昇させる生活習慣を増加・持続させるかもしれない。

対象者を7年間追跡し、女性の就労や家事が生活習慣や健康に与える中期的影響を示す。

目的

最終目的は、子育て期女性を対象に、就労と家事の負担が与える相互健康影響の評価。

今回は、働く女性の就労時間と生活習慣(喫煙、飲酒、運動)との横断的関連を示す。

対象者

同意を得た健診受診女性 5,736名のうち、25~49歳の有職者から、重複者、退職者、妊娠中、同意撤回者を除き、今回の調査項目に欠損のない

4,077名、平均年齢(sd) = 38.1(5.6) 歳

統計処理

1週就労時間の7階級で「① 喫煙、② 飲酒、③ 運動」の該当者数・%を確認。

次に、

前記のすべての共変量を含む multivariate logistic regression analysis を用い、

1週就労時間の7階級で「① 喫煙、② 飲酒、③ 運動」の odds ratio (OR) と 95% CI を算出。

この時の reference は、就労時間 36-40 h/w 群。

参考

4つの共変量「あり」の「なし」に対する、三種の生活習慣あり OR への有意な効果

生活習慣あり OR

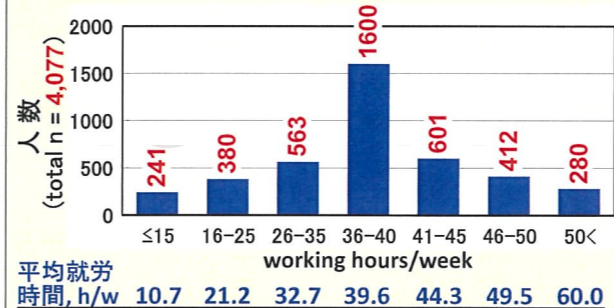
共変量 ① 喫煙 ② 飲酒 ③ 運動

治療中疾病		↓	
配偶者	↓		↓
子		↓	↓
親と同居	↓		↓

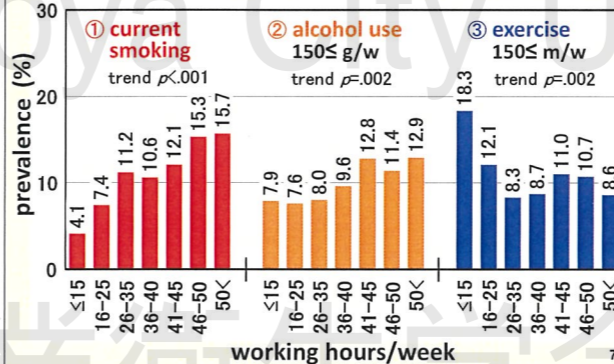
* 世帯構成が生活習慣に影響し得る。

就労時間

「1日就労時間 × 1週就労日数」から 1週就労時間を求め、下図の7階級に分類。



Crude prevalence (%) of current smoking, alcohol use (150≤g/w) and exercise (150≤m/w) according to working hours in 4,077 working women aged 25-49 ys.



この研究は、

名古屋市立大学 大学院医学研究科 医学系研究倫理審査委員会の承認あり (No. 359-4).

三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の助成金と文科省・科学研究費 (23590805, 26460750) を用い、国際セントラルクリニック (名古屋市中村区、理事長: 内藤靖夫) の多くの受診者と職員の協力で実施している。

COI: none

研究経過を下記 HP に順次開示している。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>

調査対象の三つの生活習慣 (問診票を用いた面接・聞き取りによる)

- ① 喫煙 現喫煙 450名 (11.0%)
- ② 飲酒 1週alcohol量 ≥ 150 g 407名 (10.0%)
- ③ 運動 1週運動時間 ≥ 150 m 410名 (10.1%)

②, ③ は「1日量・時間 × 1週日数」から 1週飲酒量・運動時間を求め、上位 90 percentile 以上を選択

Adjusted OR with 95% CI for current smoking, alcohol use (150≤g/w) and exercise (150≤m/w) according to working hours in 4,077 working women aged 25-49 ys.

